月本國政府

實用新案公報

實用新樂出觀公告 BR 26-1096

公告 昭 26.2.8 **出題 昭 24.8.2** 實頭 斑 24--11916

出願人 考案者 東京都荒川直尾人町2の869 古 蓝 治

楹

顕 面 の 路 祭

第1個本礎の一部を倒載せる正面層、第2個本袋 の一部を切散せる平面圏

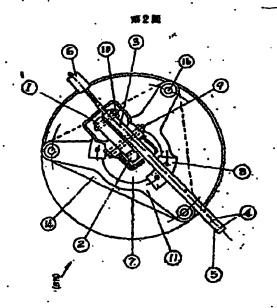
實用新家の性質、作用及效果の要領 本案は開窗に示す如く七輪17を歌屋する様にした 機枠の支柱15,16,16に七輪の上方に面して熱敏 14を又此の上部に頂飯11をそれぞれ政策け支持筒 7の下陸を頂鉄11に黄通せるポールトに購入した 切除を有するナット8の数切除に係合して止着し 下端に胚部12を有するラフクまを支持数?及頂部 11に貫通せしめ支持施7に触9落せる風形貨輪1 を前回ラック2に整合せしめ且つ該軸9に抵着せ るレバー8と風形成輪1の要都とを輸18着すると 共にレバー8の全路にわ重盛6を設けて成るせん べい協成機の物強に係るものなり18は塊成するせ んべいの合せ型、ムはレバー3の一緒におけられ た取付穴、5は連絡架。

本菜も右配の構造を有するから七輪17に依て加熱 された熱級14上に於て加熱された合せ型18の中に 教牧此他の原料を入れ、レバー3の一端の連絡穴 4に連絡された連絡索5に座なる関値を随むとレ パー3を下方に引張りレバー3に固定された層形 微輪1セラック2を下方に押し共の下部に取付6. れた胚級2に依て合せ型はは加壓される。

踏切より足を除す疑問重経6の重力に依りレバー 8が上りレバー8に止着された風形自輸1に依り ラフタ2を上昇させ匿叙12の加壓力を一気に被壓 する事に依りせんべいを検放する。斯の如く本案 に於てお、ラフク及梃子怒用に依りせんべい煙成 の努力を減じ切除を有するナプト8をゆるめる事 に依り支持筒でを廻轉させレバー8の位置を自在: に製換して使用者の任意好所なる位置姿勢を可能 にする等の効果を有する。

登録語求の範圍

岡岡に示す如く七輪17を歌程する様にした機枠の 支柱16, 16, 16に七輪の上方に関して整数14を又 此の上部に頂観江をそれぞれ政策け支持施了の下 縁を頂奴はに貫通せるボールトに購入した切談を 有するナフト.8铁切状に保合して止意し、下端に **拡張12を有するファク2を支持第7及頂銀11に**質 通せしめ支持筒 7 に頼 9 満せる騒形食輪 1 を触配 ラアク2に留合せしめ且つ核輸9に枢潜せるレバ - 8と周形政権1の要都とを頼10者すると共にレ バー8の先端には重任6を設けて成るせんべい機 皮機の構造。



和和28年2月9日 東京都千代田區三年町1 特許遊發行 定價金8回 **企2**百